小 学 校 (高学年·特別活動)

男女共同参画について考える

目標

- ・家庭や学校での役割を通して、男女共同参画について考える。
- ・男女共同参画社会の実現に向けて、男女の固定的な役割分担意識について考える。

展開例

◎:人権教育上の配慮

学 習 活 動

導入

- I 「男女共同参画とは」について、ゲストティー チャーから話を聞く。
- 2 学習課題を確認する。

男女共同参画とはどんなことなのかを考えて、 自分なりにまとめてみよう。

展開

- 3 自分のクラスやクラブ・委員会では、男子・女子という性差で役割が固定されていないか振り返る。
- (例) 実態に応じて選ばせる。
- ①○○係や○○委員会、○○クラブの男女比
- ②「クラブ長や委員長の男女比」資料
- 4 それぞれのグループで考えた意見を発表す

まとめ

- 5 男女共同参画とは、「あらゆる場面で男女と もに参画することである」ということがわかる ようなまとめをしていく。
- 6 自分なりに考えたこと・気付いたことを書く。

指導上の留意点

- ※市町村にいる人権教育委員をゲストティー チャーとして依頼する。(固定観念や性別に よる無意識の思い込みを壊すようなことを言ってもらえるようにお願いするとよい。)
- ・課題について、児童がわかりやすい言葉で 捉えられるようにする。
- ・係活動や委員会活動、クラブ活動の男女比 の資料をもとに、性差での役割が固定され ていないかという視点で、グループで考えさ せる。

(例) 6年生の社会科の授業であれば 世界の首相の写真、各国の首相の男女比など

- ◎家庭やクラスでの生活から、お互いを尊重し合える男女平等の関係を築く大切さについて考える。
- ・あらゆる場面で、男女共同参画の視点に立って考えることが大切だということに気づかせる。
- ・子ども達自身が授業から感じたこと・気づい たことをまとめることができればそれでよい。
- ・深く考えられた児童、たくさん書くことができた児童には、「性別に関係なくみんなでより良いものをつくっていきたい」などの男女の違いではなく、好みや得意・不得意・・・という観点でまとめさせる。

資 料

【参考 URL】

- 1 「男女共同参画社会」って何だろう? | 内閣府男女共同参画局(gender.go.jp)
- 2「男女平等意識を高める校内研修資料」埼玉県教育委員会 <u>01danjyosiryou.pdf (saitama.lg.jp)</u> 【導入部分について】

ゲストティーチャーは、行政の方に男女共同参画について児童向けに説明してもらうが、話す内容により、 様々な活用場面が考えられるため、調整や検討が重要。身近な人材(学校の周りの女性社長のいる企業や 「〇〇農家さん」)であれば、授業の最後などで活用も考えられる。